

さぬき

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL (087)847-5171 FAX (087)847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/> e-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

[題字] 真言宗善通寺派管長 梶原禅澄 大僧正猥下



「自分さがしなんか・・・、なんぼ追いかけても自分の背中は見えない・・・」という、思わずニヤッとするCMがあります。確かに、自分の背中自分で見ることはできませんが、周りの人々にいつも見られていますし、自分も周りの人の背中を見えています。「子どもは、親の背中を見て育つ。」とよく言われます。ここでいう背中とは、体の一部でなく、その人が生きてきた生活のことです。親とともに暮らす子どもたちは、自分が生きてきた「自分史」を持っています。学園の子どもは、「自分史」が失われ、あってもふたをしています。自分史に空白があります。ある年になると、子どもは、「なぜ学園で生活しているのか。自分の親、家族はどんな暮らしをしていて、今、どうしているのか。」と自分史の空白を埋めようとしますが、知ることが怖く、知ったとしてどうなるのかといった思いから、なかなか行動に移せません。それでも、定期、不定期を問わず家に帰れる子どもは、少しでも自分史を埋めることができます。親がいながら家に帰れない子どもの思いは実現することができません。昨年の夏休み、家に帰れない子どもと職員の1泊旅行を計画しました。空白を埋めるためでもなく、どこの家でもしている、夏休みの楽しい思い出をつくるだけのためでした。行先、旅程を考えるうちに、年に一、二度の旅行でなく、月に一度が2月に一度、定期的に続けようということになり、毎回、宿泊はきびしいことから、それなら、四国八十八ヶ所を巡ろうと子どもに相談しました。子どもはすかさず乗ってきました。8月9日の暑いさかりに1番札所霊山寺を発ち、もう一人の子ども、職員の背中を見ながら、次の札所目指してひたすら歩き、汗を拭きながら自分の足で歩いた道を思い返しなが、その日の宿泊地6番安楽寺まで、およそ18kmの道のりを8時間かけて歩きとおしました。宿坊で風呂をいただき、夕食の膳を前にした子どもの顔は、輝いていました。

讃岐学園 園長 土釜 一



より小さな集団で「フロア別の生活」

寮長 斎藤 鈴代

讃岐学園に就職して、両手足を使っても数えられないほど月日が経ちましたが、さすがに毎年四月一日は身の引き締まる思いで、新年度への期待と共に、子ども達をお預かりしている責任と覚悟を抱かずにはおれません。定員六十五名の施設ですが、今年は六十四名の入所児を抱え、最初から大所帯の幕開けです。

時代の流れとしては、里親委託の推進、施設の小規模化等と、より小さな集団で家庭らしい環境の中、家庭的体験を通しての子ども達の成長が望まれています。

讃岐学園でも、小規模グループケア施設(定員六名のおうち)が一棟ありますが、他の多くの子どもは本体施設での集団生活が基本です。中高生になると一人部屋で、自分だけの時間を落着いて過ごす事が出来ませんが、最大人数を抱える小学生集団では、誰かひとりがイライラしたり悲しくなったりすると、全体に派生したり、別のトラブルの誘因になります。「子ども達が安心して少しでも落ち着いて生活するにはどうしたらいいかな？」毎年、というより毎日壁にぶち当たり悩んでいる課題です。今年も、学童三十七名の集団を男子フロアと二つの女子フロアの三つのグループにしました。グループの年齢構成は、小学生から高校生まで縦割りです。ハード面では、それぞれのフロアにキッチンのある談話室三室を完備しました。ソフト面では、十二〜十三名の子どもに対し四名の職員を固定して配置し、より丁寧に子ども達の様子が見られて、子どもとも暮らせるようにしました。一般家庭から考えると、まだまだ大きい集団ですが、キッチンに立つて職員が腕を振るい(?)、それを子どもたちが手伝う…という家庭では当たり前体験が出来たり、小学一年生〜高校三年生まで同じフロアなので、お兄さん・お姉さんが生活の良いお手本になってくれたりする事も期待大です。そして何より、子どもと職員のほっこりした時間と関係性を求め、只今、フロア単位でそれぞれ工夫を凝らし試行錯誤中です。また、職員の呼び方も「くさん」と変更しました。今までは「く先生」でした。共に生活をし、子ども喜びやしんどさを分かち合う者として、より身近に感じてもらえる存在でありたいと思っています。

創立百十年以上の歴史を誇る讃岐学園です。時代のニーズと共に変わって行くものもあれば、守り続けるべきものもあります。濟世利人、これからも職員、子ども達と手を携えて共に歩んで行きたいと思えます。

チーム力を活かして

基幹的職員 坂田 宏文

今年度の讃岐学園の職員目標は、『チーム力を活かして』です。人は一人では何もできません。職員同士が協力して、子ども一人一人の将来を考えた支援をして行くことが、私たち職員の一歩の使命です。

しかし、それぞれの職員の育ってきた環境によって、常識の感覚も家庭のルールも少しずつ違っています。だから、それぞれの職員が思い思いに子どもたちに話をしたのでは、子どもたちが戸惑ってしまいます。そこで『チーム力』が大切になってきます。

職員みんなが同じ方を向き、子ども一人一人に合った支援をどの職員も同じようにする。それが私たち職員の目指すところです。そのためにはまず、養育・支援技術の向上をするべく、外部研修や研究会に積極的に参加すると共に、月一回の施設内研修を充実させ、自己研鑽に努めています。そして各寮のミーティングや職員会において職員一人一人が自分の意見を出し合い、それを戦わせながら職員間での共通理解を図り、子ども一人一人にとってのより良い養育・支援方針を導き出しています。また、子どもたちの一番近い大人ということで、良きモデルとなるように、一人の社会人として、仲間として職員集団を結束し、『チームの力を活かした』かわりを目指しています。難しいことばかり書きましたが、私たち職員が一番の願いは、子どもたちが立派な大人になってくれることです。学園を退園して何年か後に、「先生、お元氣ですか？近々結婚します。」などと、立派になった卒園生が訪ねて来てくれる時ほど嬉しいことはありません。学園に勤めていて良かったと思える瞬間でもあります。

これからも、学園を巣立った子がどの子も安心して自分の育った場所を訪ねてもらえるように、職員が一丸となって、その子にとっての一番良い支援を目指して頑張っ



新任職員紹介

児童心理担当

濱野幸恵

讃岐学園で働き始めて四月が過ぎようとしています。仕事に慣れながら、子どもに慣れながら、バタバタと今日まで来たように思います。日々子どもたちと関わる中で子どもたちに癒されることもあり、また癒されることがあります。そのような事もあり、それぞれが様々な方法で何かを訴えているのだと感じています。その訴えを理解し、職員に伝えることで、その子の支援になるようにお手伝いができたらと思っています。また、職員はハードな勤務の中で子どもたちと関わっており、その中で子どもへの対応に苦慮する場合もあるように思います。その場合に、職員の負担が少しでも軽減されるように動くことができればと思っています。職員が連携して子どもたちの支援を考えることも大切ですが、職員が疲れきっていない、いい支援も難しいはず、それ以外の事でも気軽に話せる存在になれればと思います。

まだまだ勉強不足な面もあり、伝えることが十分にできていないかもしれないが、心理担当の職員として、子どもたちへの支援はもちろんですが、直接処遇の職員のサポートとなるような仕事ができるよう、今後も努力しようと思います。

学童寮・男子フロア

太田有香

はじめまして。このたび、讃岐学園でお世話になることになりました。太田有香と申します。よろしくお願ひします。担当は男子フロアです。この讃岐学園で子どもたちと生活を共にして、はや四ヶ月が過ぎようとしています。元気がよく走り回る姿、一生懸命に励む姿、時には泣いたり、怒ったり、落ち込んだり、様々な表情を見せてくれる子どもたちに、寄りそう事ができることにとても魅力を感じ、学園での時間を楽しく過ごしています。学園での時間を過ごす中で、子どもたちからたくさんのお話を教わり、また、先輩職員の子どもの関わり方を見て学ぶ事がたくさんあり、毎日が勉強です。より多

くのことを学び、力を付けられる一年間にしていきたいと思っています。子どもたち一人ひとりと信頼関係をしっかりと築き、一人ひとりのニーズに合った支援ができるようになることが目標です。そして、子どもたちが安心して暮らせる学園を子どもたちと共に築くことができるように精進して参りたいと思います。勉強不足でご迷惑をお掛けするところがあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願ひします。

学童寮・女子南フロア

河野彩

はじめまして。四月より女子南フロア担当になりました。河野彩です。この讃岐学園は大学時代に保育実習でお世話になり、保育士になりたいと改めて感じさせてくれたすごく思い出のある場所です。このたびご縁があり、この学園で保育士として働くことになりました。今年三月に神戸の大学を卒業したばかりの未熟者ではありますが、元気いっぱいの子供たちと笑顔のあふれる学園にしていきたいと思っ

ています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

幼児寮

池平亜衣

はじめまして。このたび讃岐学園でお世話になることになりました。池平亜衣と申します。よろしくお願ひ致します。幼児フロア担当となりました。讃岐学園で子どもたちと一緒に過ごさせて頂くようになって、もう四カ月が過ぎようとしています。まだまだ慣れない事も多く、先輩方から沢山の事を教えていただきながら日々過ごしております。以前働いていた保育所とはまた違った環境の中で子どもたちとどの様に関わって行けばいいのか試行錯誤の毎日ですが、少しでも早く子どもたちと信頼関係を築き、一人ひとりに合った関わり方が出来るように日々精進していきたいと思っています。未熟な部分も多々あり、ご迷惑をお掛けするとは思いますが、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

事務員

中谷あゆみ

一月より事務をさせていただいています中谷です。あまり若くない新人ですが、少しでも学園の事務業務を丁寧かつ迅速に対応できるように、また、子どもたちや職員の皆さんのお手伝いできればと思っています。まだまだ分からないことがあり、ご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導いただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

幼児寮サポート

肥田野順子

三月よりお世話になってます。子育てをやつと卒業した私が、今子育てのお手伝いをさせて頂いています。早四ヶ月が過ぎようとしています。私に出来る事があるのだからかと思いつつも「肥田野さん」と元気いっぱい走って来る子ども達に、体力をつけて頑張らねばと奮闘しています。

た〜くさんあるよ!!



露店商慰問



お花見 成田山



四養 高知旅行



種まき



消防訓練



一日園長先生



楽しかった思い出



初詣



ときわ会との交流



マラソン大会



讃岐学園まつり



卒園式



クリスマス会



～お遍路紀行～



平成23年の夏より、お遍路巡りをスタートしました。希望者を募り、月に一度のペースで歩いて四国八十八ヶ所を巡っています。ただ歩くだけのことですが、子どもたちの「次はいつ？」と待ちわびている姿を見ると、「歩くこと」には見えない大きな何かがあるのだと信じてはられません。回を追う毎に成長していく子どもたちの後ろ姿に、たくさんのことを教えてもらいながら、共に歩いていこうと思います。これまでに巡った霊場は、26ヶ所。八十八ヶ所完歩を目指して、今後も継続して行なう予定です。現在までの旅路はこちら↓

<平成23年8月9日～10日> **1泊**

- 1 霊山寺 → 2 極楽寺 → 3 金泉寺 → 4 大日寺 → 5 地藏寺 → 6 安楽寺
7 十楽寺 → 8 熊谷寺 → 9 法輪寺 → 10 切幡寺

<平成23年10月9日>

- 10 切幡寺 → 11 藤井寺

<平成23年11月19日>

- 75 善通寺 → 76 金倉寺 → 77 道隆寺

<平成24年1月6日～7日> **1泊**

- 78 郷照寺 → 79 天皇寺 → 80 国分寺 → 81 白峰寺 → 82 根香寺

<平成24年3月31日>

- 75 善通寺 → 74 甲山寺 → 71 弥谷寺
→ 72 曼荼羅寺 → 73 出釈迦寺



<平成24年6月10日>

- 68 神恵院 → 69 観音寺 → 70 本山寺 → 71 弥谷寺

平成23年度 事業活動収支計算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算額
利用料収入	55,750
措置費収入	186,556,959
経常経費補助金収入	5,384,480
寄附金収入	3,659,692
雑収入	2,124,350
国庫補助金等特別積立金取崩額	9,213,950
事業活動収入計①	206,995,181
人件費支出	125,767,947
事務費支出	19,580,222
事業費支出	41,993,997
減価償却費	13,254,570
引当金繰入	1,062,192
事業活動支出計②	201,658,928
事業活動収支差額③ (①-②)	5,336,253
事業活動外収入計④	110,071
事業活動外支出計⑤	1,800,000
事業活動外収支差額⑥ (④-⑤)	-1,689,929
経常収支差額⑦ (③+⑥)	3,646,324
特別収入計⑧	2,267,000
特別支出計⑨	2,267,000
特別収支差額⑩ (⑧-⑨)	0
当期活動収支差額合計⑪ (⑦+⑩)	3,646,324
前期繰越活動収支差額⑫	120,370,852
当期末繰越活動収支差額⑬ (⑪+⑫)	124,017,176

貸借対照表

平成24年3月31日現在 (単位：円)

資産の部	
流動資産	47,965,759
基本財産	538,229,052
その他の固定資産	67,187,336
資産の部計	653,382,147
負債の部	
流動負債	6,420,586
固定負債	6,161,129
負債の部計	12,581,715
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	146,183,256
その他の積立金	47,914,000
次期繰越活動収支差額	122,017,176
純資産の部計	640,800,432
負債及び純資産の部合計	653,382,147

平成23年度特別配分により、
下記物品を購入させていただきました。

<香川県共同募金会>

- 折り畳み椅子用台車 7台
32型液晶テレビ 3台
冷蔵庫 2台
洗濯機 2台
衣類乾燥機 2台

<香川県共同募金会 高松市支会>

- 掃除機 6台
加湿器 8台
ホットカーペット 1セット

特定非営利活動法人
エキスパートチャリティアソシエーション
記録のシステム化に
ご支援をいただきました。

子どもたちや保護者の方から要望・意見（苦情）がありました

「苦情解決制度についてのお知らせ」を掲示し、苦情箱を寮玄関・各談話室などに設置して苦情に対応しました。また、小中学校の先生を第三者委員会に委嘱するなど、要望・苦情は、気軽に申し立て、職員・園長と十分に話し合っ
て解決する雰囲気づくりと苦情の解決に努めました。なお、第三者委員への申し出はありませんでした。

	申請者	内容	対応・結果
1	保護者 (3歳女兒)	・他児にかまれ、跡が残っている。	・状況などを丁寧に説明し、児童を注意深く見守る。
2	保護者 (6歳女兒) (2歳男児)	・面会に行ったのに病気を理由に面会できなかった。 ・病気について事前に連絡がない。 ・子どもに傷跡があるが、傷の説明に納得がいかない。	・病気で面会できない旨の連絡不足を謝罪。 ・傷の理由・説明不足の点については謝罪。
3	保護者 (5歳男児)	・子どもの怪我について報告・説明が十分でない。	・状況が十分に伝わってなく、再度説明。 ○保護者の状況に応じた報告・説明を簡潔・明瞭に行う。
4	小1女兒 小2女兒 小3女兒	・ボールを投げられたり、いやなことをされる。	・職員と話し合いを望んでいたもので、事情を時間をかけて良く聞く。 ・加害児童と個別に話し合い、厳しく注意。
5	小3女兒 小6女兒	・お風呂の当番をちゃんとしない。	・お風呂の当番について、子どもと職員で話し合う。 ・お互いが協力しながら行う。
6	小3男児	・「きもい」など、いやなことを言われる。	・相手子どもに事情を聞き、話し合う。
7	小2女兒 小3女兒 小3女兒	・高学年にいじめられる。	・職員が知っておいてくれれば良いとのことであったので、詳しく話を聞く。 ・職員がよく注意して見守る。
8	小6女兒 小6女兒	・いやなことを言われる。	・職員が知っておいてくれれば良いとのことであったので、詳しく話を聞く。 ・職員がよく注意して見守る。 ・いつでも職員に言って来るようにする。
9	小4男児	・体をさわったり、いやなことを言われる。	・相手児童に注意。
10	小2女兒 小2女兒 小3女兒	・いやなことをされたり、いじめがある。	・園長に話があると来てきたので、話を聞き、寮で話し合うこととする。 ・園長に話をしたことですっきりした。 ・職員が丁寧に見守るように職員に周知。
11	小5女兒	・男子職員が女子の部屋に入らないようにしてほしい。 ・休日は10時に起きたい。 ・ドッジをしたくない	・まったく入らないというのは出来ないが、必要以上には入らない。 ・起床時間などは、限度があるが子どもと話し合っ て決める。 ・ドッジはチームワークをはかるうえで大切な ので、練習のしかたなど話し合いながら行う。
12	小3女兒	・部屋の片づけをしない ・部屋の片づけをしていたら、文句を言われた。	・片づけをしないで文句を言ったので、協力して片づけをして、気持ちよく毎日を過ごすようにする。
13	小3女兒	・無視されたり、いやなことを言われる。 ・ゲームを貸し借りしている子がいる。	・職員とゆっくり話し合うのが目的で、苦情の内容を丁寧に聞く。

多くの方々のご厚志に深く感謝致します

《ご寄附》 (50音順、敬称省略)

あいおいニッセイ同和損害保険㈱、アイリオ生命(株)愛染興業㈱、青木淑郎、赤松君代、旭商工㈱、網千代美、稲田正三、岩崎和義、清瀧山栄光寺、エキスパートチャリティアソシエーション、植村隆博、漆原都子、大嶋裕一、医療法人財団博仁会キナシ大林病院、岡野朱里子、岡野美千代、小川えつ、尾洲加留、海部医院、香川県共同募金会(平成23年度NHK歳末たすけあい寄付金)、香川県子ども女性相談センター有志、香川県理容生活衛生同業組合高松支部理容ボランティア有志、香川県露店商業協同組合、笠井陽子、海部映子、カーブス、完土剛、カワゾエ衣料センター、川田浩、神原博、北原貞夫、キム・ジェジュンファンサイト、木村医院、木村保夫、木村万里子、久保和彦、黒川商店、(株)グランド商事アドバンス、小西フードセンター、子どもに伝えるクラシック制作委員会、小山ハツエ、佐々木一子、佐藤優士、(株)サニクリーン四国高松支店、サンヨーフーズ(株)、㈱サンフローラ、JX鉱石エネルギー㈱、四国旅客鉄道㈱、公益財団法人資生堂社会福祉事業財団、(財)児童健全育成推進財団、柴田廣子、嶋田純一、下笠居郵便局、小豆更生保護女性会、白鳥太鼓前田同好会、関雅之、赤十字奉仕団、赤十字奉仕団川添分団、赤十字奉仕団前田分団、全国シャンメリー協同組合、総本山善通寺、第一三共㈱四国支店、高橋石油㈱、高橋國光、高松空港ライオンズクラブ、高松中央ライオンズクラブ、高松東ライオンズクラブ、高松信用金庫元山支店、高松青年会議所、(株)高松産業廃棄物センター、タリーズコーヒージャパン(株)、喫茶チェルシー、地方紙正月連企画係、中国アイスクリーム協会、(有)辻造船鉄工所、寺岡すずえ、社会福祉法人東光学園、ときわ会、treasure One、中尾高子、長尾更生保護女性会、ナヒド・ソバハ二、西本雅生、ニッコー高松中央店、㈱ニトリ、日本鏡餅組合、「早寝、早起き朝ごはん」全国協議会事務局、東原商店、東町本若、広瀬石油、日向敏子、平井一也、平井寿子、(株)百十四銀行三木支店、(有)ピンゴ、(有)福井製麺、フジユニオン、㈱藤川設備、伏見正範、淵川朱美、古川博司、前田地区婦人会、前田地区民生児童委員協議会、前田郵便局、門司一徹、㈱マキタ、㈱マルハン高松店、松成一市、松本茂、㈱松本光春商店、三井物産(株)㈱三菱東京UFJ銀行CSR推進部、四国支店、三越伊勢丹グループ労働組合、宮宇地すみ子、三菱電機㈱、六車和頼、森川芳彰、山口ひとみ、(有)山地青果、山村江里、山本順子、ヤマモト楽器、横井博子、吉田孝平、吉田龍也、匿名

《ボランティア》

香川県理容生活衛生同業組合高松支部、香川ビルメンテナンス協会、クルマのハヤシ、高松中央ライオンズクラブ、高松東ライオンズクラブ、高松空港ライオンズクラブ、高松青年会議所、学習ボランティア、学生ボランティアのみなさま

《招待》

木下サーカス事務局、四国カイロプラクティック学院、総本山善通寺、高松赤十字奉仕団、仲南愛の会、匿名

《慰問》

香川県副知事、香川県露天商業組合、さぬき市更生保護女性会、四国電力、小豆島更生保護婦人会、高松中央ライオンズクラブ、日赤奉仕団、東町本若獅子舞、ワールドメイト



<編集後記>

今号のテーマは「歩く」。新しい試みとして始まったお遍路・八十八ヶ所巡りでは、「歩くということ」を通じて、職員も児童と一緒に歩き、空間を共有することで、より良い成長をしています。また、本年度より6名の新任職員が仲間入りし、同時に学童寮の編成が新しく代わりました。学園もまた新しい一歩を踏み出したところです。

～ 後援会員募集中 ～

讃岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。未来ある子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活がれますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口5,000円
個人会員 1口2,000円

○ゆうちょ銀行
01650-2-5168 讃岐学園
○百十四銀行本店営業部
普通預金0119413

社会福祉法人弘善会
児童養護施設讃岐学園後援会
事務局長 土釜 一